

1. 付属資料1「提案書に関する評価項目一覧」(定量評価項目)

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量・定性区分	様式	
財務体質等	自己資本比率の状況	経営の安定度を評価			【代表企業を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※自己資本÷総資本×100	定量評価	様式9-1
		○20%以上	3点				
		○10%以上20%未満	2点				
		○0%超10%未満	1点				
	○0%	0点					
流動比率の状況	短期的な支払能力を評価			【代表企業を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※流動資産÷流動負債×100	定量評価	様式9-2	
	○150%以上	2点					
	○100%以上150%未満	1点					
○100%未満	0点						
経常利益の状況	総合的な成長を評価			【代表企業を審査】 ※当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているかで判断 ※3ヶ年の状況で評価 ※当期経常利益が赤字の場合は、向上としない。 ※経常利益の証拠書類を提出	定量評価	様式9-3	
	○3ヶ年とも前期より向上	3点					
	○3ヶ年のうち2ヶ年が前期より向上	2点					
	○3ヶ年のうち1ヶ年が前期より向上	1点					
○3ヶ年とも前期より向上せず	0点						
過去3ヶ年の決算状況 (赤字の有無)	収益力を評価			【代表企業を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価	定量評価	様式9-4	
	○赤字なし	3点					
	○3ヶ年のうち1ヶ年が赤字	2点					
	○3ヶ年のうち2ヶ年が赤字	1点					
○3ヶ年のうち3ヶ年が赤字	0点						
キャッシュフローの状況	営業キャッシュフローで評価			【代表企業を審査】 ※計算に使用した証拠書類を提出 ※上場企業であるか否かにかかわらず、キャッシュフロー計算書を作成していれば、その内容を評価する。	定量評価	様式9-5	
	○営業キャッシュフローが0円超	1点					
○営業キャッシュフローが0円以下、または、上場企業でキャッシュフロー計算書を未作成	0点						
地域精進度	事業者の所在地	本店、支店、営業所等の所在地を評価		【代表企業を審査】	定量評価	様式9-6	
		○市内に本店あり	5点				
		○市内に支店、営業所等あり	3点				
		○府内に本店、支店、営業所等あり	1点				
○府内に本店、支店、営業所等なし	0点						
市への社会貢献度	市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績	災害時の応援等に係る市との災害時応援協定の締結の有無を評価		【代表企業を審査】 ※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする。	定量評価	様式9-7	
		○協定締結あり	2点				
○協定締結なし	0点						
事業者の実績・能力	事業者の同種・類似業務の実績	事業者の同種・類似業務受託実績を評価		【代表企業の施工実績を審査】 ※平成21年4月1日以降に竣工引き渡し完了した一般病床を有する病院の施工実績を対象とする。 ○同種かつ同規模以上の業務受託実績とは、「延べ面積30,000㎡以上かつ免震構造の新築又は増改築（増築の場合は増築部分が30,000㎡以上のものに限る。）の実績」とする。 ○同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績とは、「延べ面積15,000㎡以上かつ免震構造の新築又は増改築（増築の場合は増築部分が15,000㎡以上のものに限る。）の実績」とする。 ○類似業務の業務受託実績は、「延べ面積15,000㎡以上の新築又は増改築（増築の場合は増築部分が15,000㎡以上のものに限る。）の実績」とする。 ○上記いずれも実績なし	定量評価	様式9-8	
		○同種かつ同規模以上の業務受託実績あり	40点				
		○同種かつ1/2以上の規模の業務受託実績あり	35点				
		○類似業務の業務受託実績あり	30点				
○上記いずれも実績なし	0点						
配置予定従事者の実績・能力	配置予定従事者の業務実績	業務を執行する上で有効な国家資格等の有無を評価		【監理技術者の保有する資格審査を行う。】 ※左記の「国家資格等」とは、下記に示す国家資格とする 「一級建築士」及び「一級建築施工管理技士」両方の資格 ※証明書、合格証等を提出	定量評価	様式9-9	
		○資格あり	3点				
		○資格なし	0点				
配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	同種・類似業務の実績の有無を評価	同種・類似業務の実績の有無を評価		【監理技術者の施工実績を審査】 ※平成21年4月1日以降に竣工引き渡し完了した一般病床を有する病院の施工実績を対象とする。 ○責任者として同種業務に従事した実績とは、「延べ面積15,000㎡以上かつ免震構造の新築又は増改築（増築の場合は増築部分が15,000㎡以上のものに限る。）を監理技術者として従事していた実績」とする。 ○同種業務に従事していた実績とは、「延べ面積15,000㎡以上かつ免震構造の新築又は増改築（増築の場合は増築部分が15,000㎡以上のものに限る。）を監理技術者又は現場代理人として従事していた実績」とする。 ○類似業務に従事していた実績とは、「延べ面積15,000㎡以上の新築又は増改築（増築の場合は増築部分が15,000㎡以上のものに限る。）を監理技術者又は現場代理人として従事していた実績」とする。 ○同種・類似業務に従事した実績なし	定量評価	様式9-9	
		○責任者として同種業務に従事した実績あり	10点				
		○同種業務に従事していた実績あり	7点				
		○類似業務に従事していた実績あり	4点				
○同種・類似業務に従事した実績なし	0点						
配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等	同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を評価	同種・類似業務内容に関する専門知識等の有無を評価		【監理技術者の業務内容に関する専門知識等を審査】 ※「専門知識等」とは、「有効な国家資格等」以外の民間資格等をいい、下記に示す資格とする。 「コスト管理士」 ※証明書、合格証等を提出	定量評価	様式9-9	
		○専門知識等あり	1点				
○専門知識等なし	0点						
品質保証への取組	品質マネジメントに関する取組状況	品質マネジメントに関する取組状況を評価		【代表企業を審査】 ※登録証の写しを提出 ※入札告示日現在の取得状況とする。	定量評価	様式9-10	
男女協働参画の実現への取組	休暇休業等の取得状況	育児休業・介護休業等の取得率を評価		【代表企業を審査】 ※取得者率(%)＝雇用者に占める取得者の割合 ※入札告示日以前(過去3年間)の取得者率を評価する。	定量評価	様式9-11	
		○3%以上	3点				
		○2%以上3%未満	2点				
		○1%以上2%未満	1点				
○1%未満	0点						
環境への配慮	環境への取組状況	環境への取組に係る各種認証制度の取得状況を評価		【代表企業を審査】 ※登録証の写しを提出 ※入札告示日現在の取得状況とする。	定量評価	様式9-12	
		○ISO14001等の認証取得の有無	4点				
○その他第三者認証制度取得の有無	2点						
特許の取得	特許の取得状況	特許の取得の有無を評価		※入札告示日現在の取得状況とする。 ※特許証と特許内容が分かる書類の写しを提出 ※他社の特許を侵害していないことを証する文書を提出 ※工期短縮や品質向上につながる工法や、建築資材、社内での取組み等の特許について評価する。	定量評価	様式9-13	
		○特許を取得済み 他社の特許を侵害していない	10点				
○特許を未取得 他社の特許を侵害していない	0点						
定量評価 合計			100点				

2. 付属資料1「提案書に関する評価項目一覧」(定性評価項目)

評価分類	評価項目	評価基準	配点	備考	定量・定性区分	様式
研修体制	研修の実施	技術力向上のための研修の実施状況の評価	1点	【代表企業を審査】 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。 ※報告書、受講修了証、レジュメ等で確認する。	定性評価	様式10-1
	適正な履行確保のための研修計画	契約期間中の適正な業務履行確保のための研修計画の有無及び内容の評価	1点	※研修対象は現場の作業従事者とする。 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。	定性評価	
履行体制	適正な履行確保のための業務体制	仕様書に基づく作業計画書の作成と業務内容の評価	2点	※作業計画書と仕様書との適合性を評価する。	定性評価	様式10-2
品質保証への取組	苦情処理体制	苦情処理体制の整備状況の評価	1点	【代表企業を審査】 ※苦情処理要領(マニュアル等)の有無、内容(役割分担、報告・指示及び結果報告系統、伝達方法の明記必須)	定性評価	様式10-3
実施方針等	実施方針・フロー・工程表	業務の実施方法や実施体制、工程表等 【評価基準】 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。 ・企業の設計実績及び配置設計技術者の実績、資格 ・事業工程短縮のための具体的かつ実現性のある手法について(設計手法、施工方法等)	25点	【評価基準】 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。 ・企業の設計実績及び配置設計技術者の実績、資格 ・事業工程短縮のための具体的かつ実現性のある手法について(設計手法、施工方法等)	定性評価	様式10-4
特定提案等	【配置計画】	【評価基準】 ・周辺環境に配慮した計画となっているか。 ・病院利用者の利便性や安全性に配慮したアプローチ計画となっているか。 ・合理的な施設配置計画であるか。	15点	※提案書により確認	定性評価	様式10-5
	【施設計画】	【評価基準】 ・患者や家族、職員等、病院の利用者にとって快適で利用しやすさに配慮されているか。 ・病棟の療養環境に配慮されているか	15点	※提案書により確認	定性評価	
	【動線計画】	【評価基準】 ・来院者にわかりやすい動線計画になっているか。 ・職員が安全で効率的に業務を行えるよう配慮した動線計画になっているか。 ・看護動線や物流動線の効率化に配慮されているか。 ・合理的な救急動線の計画となっているか。	15点	※提案書により確認	定性評価	
	【新病院の機能等の提案】	【評価基準】 ・感染症に配慮した計画になっているか。 ・医療環境の変化(DX化含)に配慮されているか。 ・鉄道から生じる振動、騒音、電磁波等への対応が考慮されているか。	10点	※提案書により確認	定性評価	
	【将来を見据えた計画、LCC等について】	【将来を見据えた計画、LCC等について】 ・引き渡し後のアフターサービスの体制が計画されているか。 ・建物の維持管理、省エネ対策等のLCC削減について計画されているか。 ・将来の医療環境の変化にも対応できる計画となっているか。	10点	※提案書により確認	定性評価	
	【自由提案】	【自由提案】※最大3つまでとし、以下に例を示す 例1) 診療機能向上、病院利用者の利便性向上に資する提案、 例2) 基本設計デザインビルドのメリットを最大に活かしたマネジメント手法(コスト、品質等)について、 例3) 工事期間中の近隣住民、周辺環境、鉄道等に配慮した計画について	5点	※提案書により確認	定性評価	
定性評価 合計			100点			